

各位

株式会社トップカルチャー
 代表取締役社長 清水秀雄
 (コード 7640 東証1部)

トップカルチャー 2008年10月期 通期連結業績

売上高 295 億円 前年比 104.9%

—既存店売上高前年比 100.4%—

売上高	29,538 百万円	(前年比 104.9%)
経常利益	608 百万円	(前年比 54.2%)
当期純利益	345 百万円	(前年比 56.6%)

当連結会計年度は、蔦屋書店部門において既存店の売上高前年比が **100.4%**、全店で **105.1%**と堅調に推移し、増収となりました。

主要部門のうち、**書籍は既存店前年比 102.1%**(全店 106.1%)と好調、レンタルは既存店前年比 99.5%(全店 104.6%)と前年とほぼ同水準の売上となりました。

● 既存店増収—書籍と販売用CDが好調

当連結会計年度は**書籍が既存店前年比 102.1%**(全店 106.1%)、**販売用CDが既存店前年比 101.9%**(全店 106.0%)と売上伸長し、業績に寄与いたしました。書籍は売上上位商品の充足率強化および「ミックス売場」による提案型の売場づくりが奏功し、好調を維持しております。販売用CDは定番商品の充足率強化およびタイトルパワーのある新譜に恵まれたことが売上伸長に繋がりました。

● 新規出店4店、店舗譲受1店を実施

蔦屋書店を東京都に1店、神奈川県に2店、群馬県に1店の4店出店いたしました。また、9月には株式会社TSUTAYAのFC加盟企業より「TSUTAYA座間店」(神奈川県・座間市)を譲受し、**グループ期末合計店舗数は67店舗**となりました。引き続き中期目標である「グループ100店舗体制」の早期実現に向け、出店拡大を進めてまいります。

● 経常利益 608 百万円 (45.8%減) の主な要因

Tポイント還元収益の増加、オープン後3年を経過した店舗のレンタル初期在庫投資の償却負担分減少による利益のプラス要因があった一方、レンタルの品揃え強化として戦略的な仕入拡大を行い、邦画・アニメの売上は伸長しましたが、洋画の売上が想定より伸びず売上がほぼ前年並みに留まったことが減益の主な要因となりました。また、関東地区での出店拡大による費用の増加および「グループ100店舗体制」に向けた人員確保や教育への先行投資により販管費の増加がございました。

● 2009年10月期連結業績予想

2009年10月期は2店～4店(うち2店を計画折込済み)の新規出店を予定しております。新たにエリアマネージャー制度を導入し、経営幹部の店舗巡回による直接指導で店舗運営力の強化を図ってまいります。また、既存店の堅実な成長持続と新店の早期立ち上がりにより売上伸長を目指すと共に原価率の低減および在庫の適正化と効率運用により、大胆な収益体質の改善に取り組んでまいります。

売上高	30,301 百万円	(前年比 102.6%)
経常利益	820 百万円	(前年比 134.8%)
当期純利益	410 百万円	(前年比 118.7%)

1. 連結業績の概要

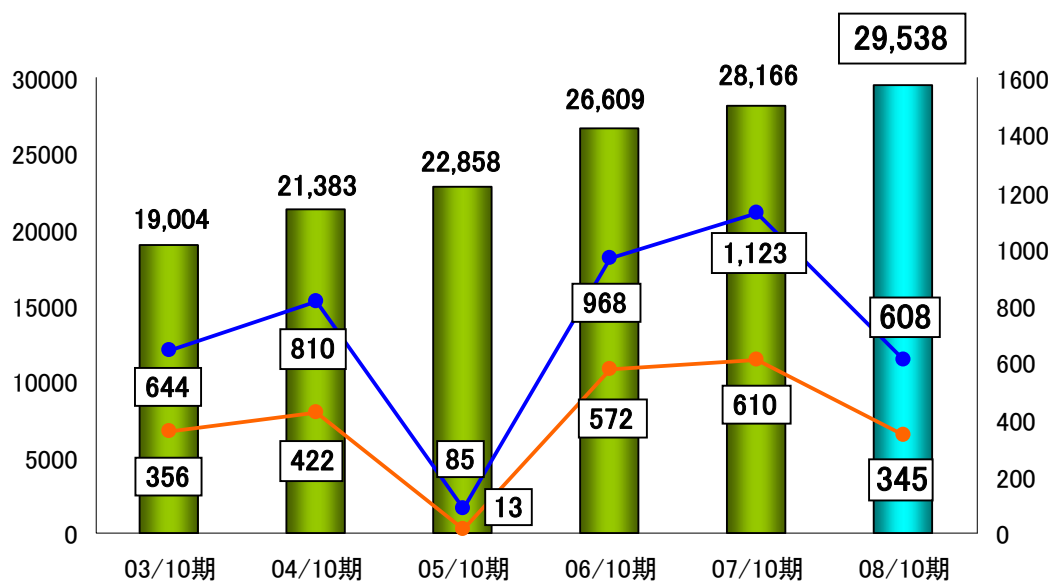
- ・ 既存店が売上高前年比 100.4%と前年を上回り、増収に寄与いたしました。
- ・ 新規出店4店、店舗譲受1店、既存店の大幅増床2店を実施いたしました。

【連結サマリー】

(百万円)

	2007年10月期		2008年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	28,166	100.0	29,538	100.0	104.9
売上総利益	8,762	31.1	8,933	30.2	101.9
営業利益	1,034	3.7	550	1.9	53.2
経常利益	1,123	4.0	608	2.1	54.2
当期純利益	610	2.2	345	1.2	56.6
EPS(円)	48.85		28.09		57.5

売上高(百万円)

経常利益
当期純利益(百万円)

【単体サマリー】

(百万円)

	2007年10月期		2008年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	27,118	100.0	28,503	100.0	105.1
売上総利益	8,499	31.3	8,613	30.2	101.3
営業利益	1,003	3.7	492	1.7	49.1
経常利益	1,117	4.1	639	2.2	57.2
当期純利益	600	2.2	352	1.2	58.7
EPS(円)	48.10		28.67		59.6

2. 商品別売上高の状況

- ・ 書籍は既存店前年比 102.1%と引き続き好調を維持しております。
- ・ レンタルは既存店前年比 99.5%と前年とほぼ同水準の売上推移となりました。
- ・ 販売用CDは定番商品の充足率強化およびタイトルパワーのある新譜に恵まれたことにより既存店前年比 101.9%と売上伸長に貢献いたしました。
- ・ 文具は売場改装を随時行い、地域のニーズに合わせた商品展開と売場刷新を図っております。

(百万円)

	07年10月期	08年10月期			既存店
	金額	金額	増減額	前年比	前年比
書籍	10,924	11,593	668	106.1	102.1
レンタル	5,984	6,165	270	104.6	99.5
販売用CD	3,726	3,948	221	106.0	101.9
販売用DVD	2,060	2,097	37	101.8	97.9
文具	2,436	2,498	61	102.5	98.5
その他	2,074	2,200	125	106.0	
蔦屋書店計	27,118	28,503	1,384	105.1	100.4
トップブックス計	972	880	△92	90.5	
グランセナ計	75	154	79	206.2	
合計[連結]	28,166	29,538	1,372	104.9	

3. 出店・増床の状況

- ・ 東京都に1店、神奈川県に2店、群馬県に1店の合計4店を出店いたしました。
また、(株)TSUTAYAのFC加盟企業より1店を譲受し、グループ期末合計店舗数は67店舗となりました。

グループ合計店舗数 67 店舗 延床面積合計 30,760 坪

(1店当たり 平均 459坪)

【2008年10月期出店・増床状況】

	店名	場所	面積	オープン日
出店	蔦屋書店 青葉奈良店	神奈川県	420坪	2007/11/2
	蔦屋書店 伊勢崎宮子店 BOOK&CAFE	群馬県	800坪	2008/6/20
	蔦屋書店 厚木下依知店 BOOK&CAFE	神奈川県	450坪	2008/7/18
	蔦屋書店 稲城若葉台店	東京都	420坪	2008/10/25
譲受	TSUTAYA 座間店	神奈川県	111坪	2008/9/1

	店名	面積	改装オープン日
増床	蔦屋書店 新津店	420坪⇒800坪	2007/12/14
	蔦屋書店 新通店	350坪⇒450坪	2008/3/20

4. 2009年10月期の業績予想

- ・ 2009年10月期の出店は、2～4店(うち2店を計画折込済み)を予定しております。
- ・ エリアマネージャー制度を導入し、経営幹部の店舗巡回による直接指導で店舗運営力の強化を図ってまいります。
- ・ 既存店の堅実な成長持続と新店の早期立ち上がりにより売上伸長を目指すと共に原価率の低減および在庫の適正化と効率運用により大胆な収益体質の改善を図ってまいります。

【連結】

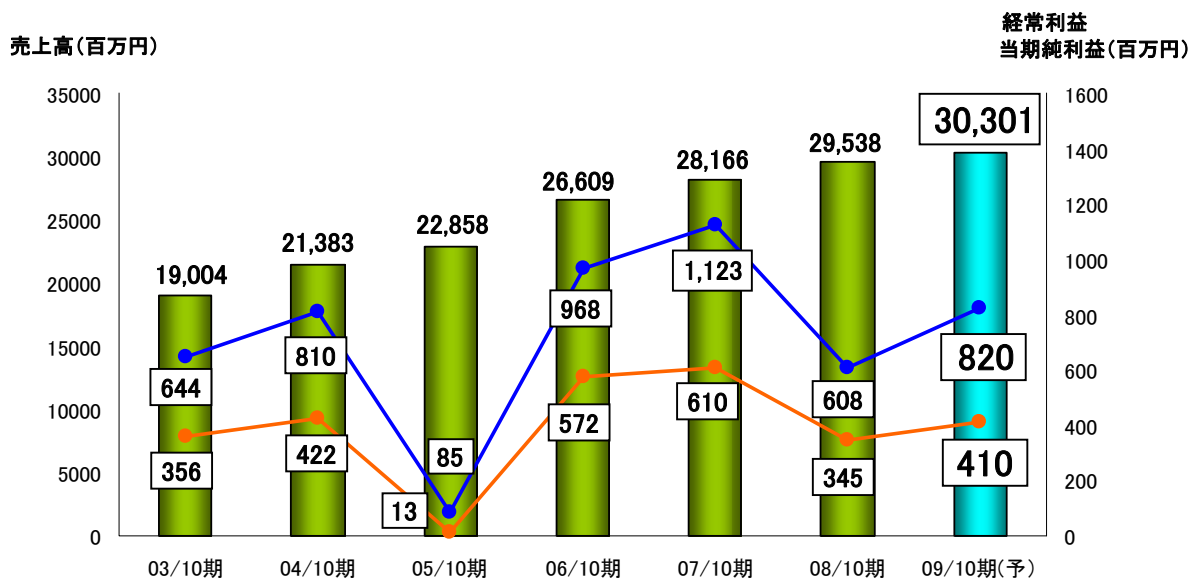
(百万円)

	08年10月期		09年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	29,538	100.0	30,301	100.0	102.6
経常利益	608	2.1	820	2.7	134.8
当期純利益	345	1.2	410	1.4	118.7
EPS(円)	28.09		34.18		121.7

【単体】

(百万円)

	08年10月期		09年10月期		前年比 (%)
	金額	構成	金額	構成	
売上高	28,503	100.0	29,252	100.0	102.6
経常利益	639	2.2	846	2.9	132.3
当期純利益	352	1.2	439	1.5	124.6
EPS(円)	28.67		36.63		127.8



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【この資料に関するお問い合わせ先】

株式会社トップカルチャー

取締役副社長兼総務部長 宮原 務

TEL: 025(232)0008

<http://www.topculture.co.jp>